

わりと人気の高い Nate the Great シリーズに 12 冊追加。これで計 22 冊となります。

- Nate the Great and the Boring Beach Bag 1.9 2000
- Nate the Great and Fishy Prize 2.5 2600
- Nate the Great and the Monster Mess 2.5 2000
- Nate the Great and the Mushy Valentine 1.9 2000
- Nate the Great and the Phony Clue 2.5 1500
- Nate the Great and the Pillowcase 2.2 2300
- Nate the Great and the Stolen Base 2.5 2100
- Nate the Great and Tardy Tortoise 1.5 2000
- Nate the Great Goes Down in the Dumps 2.1 2200
- Nate the Great On The Owl Express 2.2 2500
- Nate the Great Saves the King of Sweden 1.9 2200
- Nate the Great Stalks Stupidweed 2.5 2200

- The Japanese Economy YL : 3.1 総語数 : 7,310

戦後から現在にいたるまでの日本経済について解説されています。といっても、難解なものではなく、猛烈社員とか、土地神話とか、「ああ、あったあった。」となつかしいような複雑な気持ちをかかえつつも、気軽に読める内容です。

先日の講演会で酒井先生に「マンガ本」をお勧めされましたので、さっそくジブリ系で 2 冊、「サザエさん」最初の 3 巻を入れました。

- Howl's Moving Castle YL : 1.2 総語数 : 2,300

Sophie は父が大切にしていた帽子屋で働くお針子です。ある日 Sophie は荒地の魔女に呪いをかけられ、90 歳の老婆に変えられてしまいます。その姿のまま家にいるわけにもいかず、Sophie はひとり、町を抜け出し、一夜をすごすために魔術師 Howl の移動する城に入り込みます。Howl はうわさどおりの恐ろしい魔術師なのか、はたして Sophie はもとの姿に戻れるのか。地味で退屈な帽子屋のお針子の生活から一転、Sophie の冒険が始まります。2004 年秋に公開された宮崎駿監督のアニメーション映画『ハウルの動く城』のフィルムコミック、全 4 巻の第 1 巻。第 2 巻も入荷済みです。ご希望があれば最終の 4 巻まで購入します。

- Sazae-san ①～③ YL : 1.5 総語数 : 3900 (概算)

おなじみ、4 コママンガのサザエさんの対訳です。日本語の内容や単語の意味を解説してあるので、わからないところは消化不良にならずに済みますが、どうしても、すぐに日本語を見てしまうかも。。？

- ハートで感じる英文法 DVD3 巻と書籍 1 冊

NHK 教育で 2005 年 7 月～9 月に放送された「3 ヶ月トピック英会話」の DVD 化。ネイティブの英語を知識としてではなく、感覚で感じる斬新な学習法で英語を学んでいく。本を読んでから DVD を見る。またはその逆でも OK。本のほうがより広い範囲について説明しています。DVD はお 1 人様 1 回につき 1 枚の貸出でお願いします。

編集後記

先日、洋版ラダーから「バカの壁」の英語版が出たと聞き、ネットで調べていたら、養老孟司さんのインタ

ビュー記事が載っていて、ちょっと気になったので転載します。

---英語学習をする際のアドバイスはありますか?---

「英語学習をしようというときのコツは、英語で考えることだね。少なくとも辞書を使わずに読めるレベルになるまでは、必死でやしないとダメ。ある程度読めるようになったら、辞書は時々引けばいい。日本語だって同じでしょ。わかんなかったら飛ばして読めばいい。前後関係から読めばいいんです。年中辞書を引くと参っちゃうよね。だからはじめは中学の教科書レベルで十分。中学の教科書が完全に頭に入っていれば、英語は十分しゃべれますよ。」

。。。とのこと。また、英語でしゃべれナイトのPACKUNいわく、PACKUN英検を解くコツは「話している英語全部を聞き取ろうとしないで、聞き取れたところだけをつなぎあわせてイメージを浮かべる」ことだそうです。どちらもSSS多読に通じるものがあり、ちょっとうれしくなりました。

3/11の酒井先生の講演会の収録ビデオ(DVD)できています。無料で貸し出していますので、参加されなかったかたは、ぜひご覧ください。きっとパワーアップするはずです。ところで講演会の中でも触れられていましたが、SSSのホームページは多読関連の情報満載です。トップページから週間のメルマガ購読申込ができます。このメルマガは、本の紹介や100万語通過報告、体験談など、多読を応援する情報の入り口になりますので、これも強くお勧めします。SSSトップページはwww.seg.co.jp/sss/

ヘンミ